

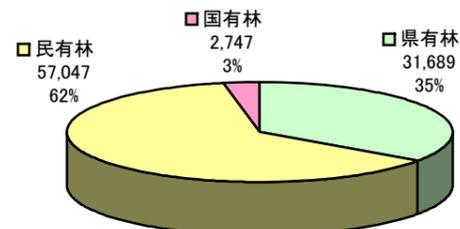
地域の概要

○ 行政区域

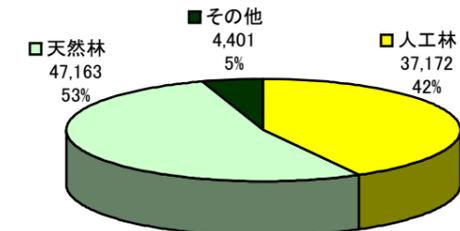
市川三郷町 増穂町 鵜沢町  
早川町 身延町 南部町 の6町

○ 森林資源

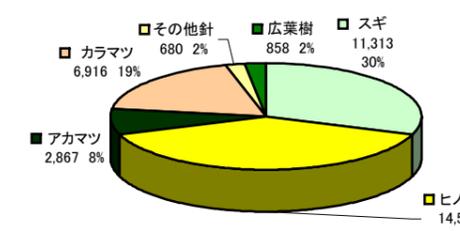
1 所有形態別森林面積



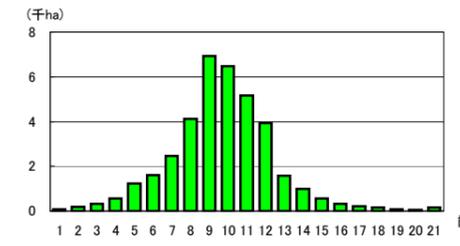
2 人天別面積



3 人工林の樹種別面積



4 人工林の齢級別面積



森林計画の現況

項目	単位	計画	実行	実行歩合
主伐材積	百m3	641	613	96%
間伐材積	百m3	1,995	2,301	115%
更新面積(人工造林)	ha	348	143	41%
更新面積(天然更新)	ha	1,854	1,403	76%
育成複層林面積	ha	2,120	1,852	87%
林道開設	km	29	14	50%
保安林指定面積	ha	496	160	32%
治山施行地区数	地区数	65	70	108%

計画区の課題

ア 多様な森林整備の促進

- 地球温暖化防止対策の推進
- 森林の多面的機能を発揮
- 森林の境界等の明確化

イ 森林の保全及び保護

- 貴重な森林及び景観の保全
- 生物多様性の保全
- 地形が急峻・地質が脆弱な地域の山地災害の未然防止

ウ 人工林資源の循環利用の促進

- 森林資源の有効活用
- 循環利用の促進
- 供給拠点との連携
- 間伐材の搬出など利用も併せた森林整備の促進

エ 林業の振興

- 施業の集約化
- 低コスト作業システムの普及
- 林業事業者の育成
- 県産材の安定供給のための体制整備

オ 里山地域の保全

- 農山村の美しい景観の維持
- 耕作放棄地や荒廃森林の整備

カ 社会全体で支える森林づくり

- 様々な主体が連携した森林整備や木材利用
- 森林吸収源対策としての森林整備への取組

基本的な考え方

ア 森林整備の方針

- 「水土保全林」「森林と人との共生林」「資源の循環利用林」に区分し、整備及び保全
- 利用間伐や長伐期施業の促進
- 針広混交林化・広葉樹林化など多様な森林整備の促進
- 地球温暖化防止のための森林吸収源対策を推進
- 原生的な森林などの適切な保管理
- 景観に配慮した森林整備及び管理
- 生物多様性の保全に寄与
- 花粉発生源対策の推進

イ 森林の保全及び保護の方針

- 保安林の指定による荒廃地の復旧と災害の未然防止
- 自然環境に配慮した工法導入、技術向上
- 病虫獣害の防除及び拡大防止と発生予防策の推進
- 機能低下森林への公的関与及び民間活力の利用

ウ 林業・木材産業の振興の方針

- 森林所有者や林業事業者等による県産材の安定供給の確立
- 効率的な作業システムの普及
- 森林施業プランナーを中心とした提案型集約化施業の実施
- 特用林産物の需要拡大
- 未利用森林資源を利用した商品開発・普及

エ 森林の保健休養機能の増進に関する方針

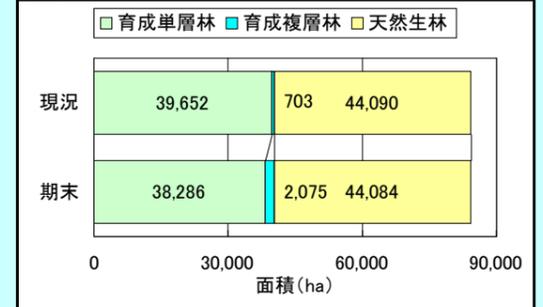
- 森林の保健休養機能の増進やその利用促進に対する支援
- 里山再生を図りながら、体験活動や健康づくりの場としての利用推進
- 森林環境教育の場としての利用推進

オ 市町村森林整備計画との連携

- 市町村の課題・目標を明確にした市町村森林整備計画の策定支援

計画の内容

○ 森林施業区分ごとの面積



○ 伐採立木材積

主伐材積	1,956 百m3
(現計画)	1,347 百m3
間伐材積	5,720 百m3
(現計画)	4,216 百m3

- 主伐については、伐期を迎えた林分が多くなっていることから現計画比145%を計画。
- 間伐については、荒廃森林等への積極的な整備や、これまでの実施状況を勘案して、現計画比136%を計画。

○ 更新面積

人工造林面積	700 ha
(現計画)	771 ha
天然更新面積	3,148 ha
(現計画)	3,000 ha

- 人工造林は、長伐期化に伴うha当たりの材積量の増加などにより、主伐量に対して少なく計画。
- 天然更新は、伐採後のぼう芽更新や間伐による針広混交林化などが進んでいることから、計画量を増加。

○ 路網の整備

林道の新設	48.7 km
(現計画)	52.9 km

- 平成16年度策定の「山梨県林道網整備計画」に基づき計画。

○ 森林施業の合理化

- 森林施業の共同化の促進
- 林業に従事する者の養成及び確保
- 林業機械の導入の促進
- 作業路等の整備
- 林産物の利用の促進のための施設の整備

○ 保安施設に関する事項

保安林指定量	1,342 ha
(現計画)	821 ha
治山事業の施行地区数	145 箇所
(現計画)	150 箇所

- 県土保全、水源かん養機能の強化を図る。